



# にじのかけ橋

発行/特定非営利活動法人にじのかけ橋

〒658-0054 神戸市東灘区御影中町8丁目3-14

電話 078-842-7765

E-mail: nijikake@nijikake.com

ファックス 078-842-7790

http://www.nijikake.com

## 気づきこそが成長の源

理事長 武田純子

殊の外、身に応えたこの夏でした。「私は熱中症には、かかるはずがない」と豪語していたのですが、「何かヘン!？」と気づいた朝には、点滴と静養で救われました。

そういえば豪雨の災害に遭われた住民が、「この位の雨なら大丈夫」という固定観念が、間一髪で避難のタイミングに気づき、命拾いをしたと云う体験談を耳にします。

何れの例も「自分は大丈夫」という思い込みと、正常性バイアスという自分の都合のいい選択をしてしまう傾向が潜在的に宿っているのでしょうか？

今回ほど自分の思い込みが生命をも危うくしてしまう事があるという事を思い知らされたことはありませんでした。私達の日常行っている中で、常に気づきや「オヤッ」と思う感性は大事にしなければと思いません。

今年は、にじのかけ橋では大切な利用者とドライバーの二人を失いました。

30代の男性の利用者は10年近く通所され、何かと皆を盛り上げてくれた仲間のひとりでした。70代のドライバーは、当事業所が立ち上げの時から朝夕安全運転に徹して利用者の送迎を担ってもらった方でした。

この二人の笑顔が今でも蘇り、皆の心の支えとなって生きています。(合掌)

また、平成28年に御影本町に於いて開所した「生活介護なないろ」は、体制が整わなかったため、平成30年3月末で事業を終了し、生活介護は「にじのかけ橋」と「ぶどうの木」の2カ所にもどり、「なないろ」の場所は平成31年度に向けて開設する新事業の準備をしています。



また、先般「ぶどうの木20周年感謝の集い」を「ぶどうの木」の家族と永年関わって下さったボランティアの皆さんと共に開催しました。「にじのかけ橋」と「ぶどうの木」が、合併する前から数えてちょうど今年で20年になることを受けて企画したもので、あらためて地域で育てて頂いた関係者の方々に感謝の意を表しました。

現在、当法人では、働きやすい環境を整えている最中です。就業規則、育児休業、介護休業等の規程の見直しを行い、スタッフが働きやすい職場環境を作っておかねばと社労士の協力を得て作成中です。又、「事業所が、これからも地域で活動し続ける」

には、社会情勢や、環境の変化にも敏感に気づいて、臨機応変に対応していかなければなりません。

当法人が、これからも輝き続けられるよう、スタッフの「やる気スイッチ」のオン・オフのさじ加減を大事にして「にじのかけ橋の底力」を発揮していきたいと思えます。



# 「小さなつみかさねを大切に」

施設長・サービス管理責任者 長田祐子

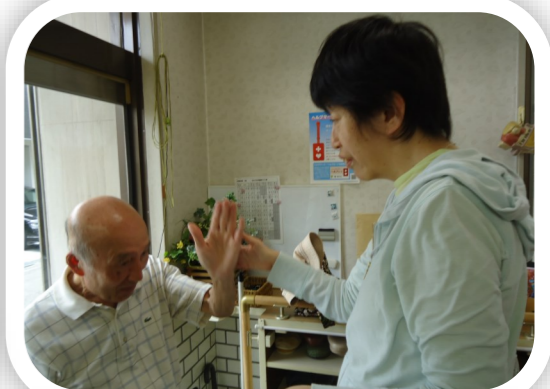
平素より皆様方のご協力に感謝致しております。4月から岡崎前施設長より引き継ぎさせていただきました長田です。長年須磨区の社会福祉法人に勤め、東灘区に転居後、武田理事長と出会い“チームにじかけ”の一員に加わったのが9年前でした。私自身30数年、目まぐるしく変わる障がい者制度や、多くの利用者の方との関わりを経験して参りましたが、やはり今もこの仕事が好き！…それはどの時代でも利用者の方や職場の仲間と「笑ったり喜んだり悩んだり考えたりを繰り返す事そのもの」が活力だから…そして日々利用者の方が生活の身近な事にチャレンジする姿、出来る事を見つけて行なっている姿、それを続けている姿を思い、小さなつみかさねが、私たち支援者の大きな力や喜びを生み出す事を信じ、自分に驕ることなく法人の今後に関わって行きたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

「子供」のボタンを押してください  
「子供じゃないのに」  
「2人で乗るとお金は半分になります」  
「へえー」



毎日、帰る前にその日の報告を各自が発表。司会進行も日替わり。イタについてきました。

「ボランティアさん帰られますよ」と言うと、玄関へ行きます。ありがたいのタッチをして見送るときの表情はやはりわかです。



「やりたくない」と当初は言っていた水やり。今では水が出るのを待ちかまえています。



音楽療法で打楽器を配るのが、私の役目です。ひとつずつ取って一人ひとりに渡します。回を重ねて、手つきがよくなりました。

「手づくりケーキ、食べますか？」  
「た・べ・ま・す」  
文字盤で自分の思いを伝えます。伝わるまで何度も何度も根気強く示します。



「今日は何してたっけなあー」  
活動記録ノートは学校卒業後も字を書き続ける彼女の日々の努力の結晶です。



「シール渡したら助かる？」  
「助かります」  
職員が貼り終わるのを待って、シールを渡してくれます。



昼食後は菌みがきタイム。車いすの方には手分けして持っていきます。

## ぶどうの木 20周年を迎えて

家族 庄司百合子

21年前、友生養護学校を卒業するにあたり、毎日通所できる場所がないかと思っていたら、松井様より場所の提供がありました。ですが、重度の障害者です。なにができるか右も左も解らず、他の施設見学をして回りました。H作業所を見学した時、これだと思えるものに出会えました。さっそく販路を確保し、何とか形になりました。所長という大役が決まらなかったのですが、元校長の高内先生が引き受けてくださり、地域に根ざした作業所ということで、色々な人達の協力を得て、販売をすることができました。地域のお祭りにも参加し、親達の手作りの物も販売しました。大変でしたが、楽しい思い出です。これからも形を変えても地域に受け入れられる事業所を目指して頑張っていきたいと思っております。



本年は、平成10年4月にご家族の尽力により、深江南町に「共働作業所ぶどうの木」が設立されてから20年の節目の年になります。日頃大変お世話になっているボランティアをお招きして、7月に「20周年感謝の集い」を開催しました。平成21年に「にじのかけ橋」と合併し、生活介護事業所となりましたが、当時、作業所運営のために奮闘されたお母さん方のエネルギーが感じられる会となり、あいさつのことばに感動の涙もありました。また「いと」コンサートでは、ボーカル村上さんの歌声が響き、力をもらいました。お母さん手づくりのデザートをいただきながら歓談し、とても楽しいひとときになりました。今後も、ぶどうの木に関わってくださる人達に感謝しながら歩んで行きたいと思っております。(ぶどうの木 主任 木田京子)

## 新しい仲間

『はじめまして』

にじのかけ橋 木下ヒサヨ (母)

4月に入所しました。木下詩穂です。初めての人、場所に慣れるのに時間が必要ですが本人なりに頑張るタイプなので応援して欲しいなと思っております。よろしくお願いします。

にじのかけ橋 島尻浩一さん



島尻は  
はげちらかつてる  
ナイスガイ  
浩一

## 「よろしくお願ひします」

理事 飯島久道（神戸市社会福祉協議会新規事業推進担当局長）

みなさん、はじめまして。このたび理事に就任しました飯島です。現在、神戸市社会福祉協議会で、高齢者のデイサービス施設を障害者の「地域生活支援拠点」として、生活介護や緊急ショート、相談支援等を行う施設へと改修、転活用していく仕事をしています。

武田理事長とは、神戸市職員時代に、東灘区で一緒に、震災の被災者支援や障害福祉活動の推進に関わったところからのほんとうに長いお付き合いです。

障害福祉事業は経営がたいへん厳しい分野と言われる中で、障害児・者や親の深刻なニーズを受けとめるとともに、実に上手に地域住民の理解と支援を得ながら、障害者が地域で「生きる力」を身につけることができるよう、新しい事業にチャレンジする理事長の熱意にたいへん共感してきました。

私はまだまだ若輩、非力ですが、皆様のお力に少しでもなれるよう努めていきたいと考えますので、よろしくお願ひいたします。

## にじ

管理者・サービス提供責任者 鷺池美智子

私の大好きな高校野球の記念すべき1000回目のこの夏、閉会式に大きな虹がかかるという奇跡が起きました。そして、秋田の空にも…。甲子園の空にかかった大きな虹は、野球の神様から、頑張った沢山の球児たちへのプレゼントだったのでしょ！私は周りをキョロキョロと観察しながら歩くのが好きで、たまに虹に出会う事があります。そんな時は、心がパッと明るくなり、そしてエールをもらった気がします。下を向いて歩いていたら、何も見えません。前を向いて歩いていたら、次に踏み出す一歩が見えてきます。にじのかけ橋の名前の通り、利用者さんのかけ橋となれる様、これからも寄り添っていきます。

## 笑顔いっぱい！

堀井明子（利用者の母）

息子が大変お世話になっております。阪急電車に夢中！毎週ガイドヘルパーを利用している22歳の息子です。振り返れば、はじめは、お出かけの際、こだわりが強くて周りの様子がかめなくてつらい思いもたくさんしてきました。より多くの方とコミュニケーションがとれたらいいなあという気持ちでいっぱいでした。にじかけさんと出会ったおかげで声かけしていただき、大好きな電車に乗ってお出かけできるようになりました。子供もゆつたりのおんびり色々なことにチャレンジしながら興味を持てるようになりました。笑顔いっぱい！毎週お出かけできる日を楽しみにしております。

これからも宜しくお願ひいたします。

ハートケアだより

**居宅介護・移動支援等のヘルパーさんを募集しています！！**  
**週に一度からでOKです。空いている時間を有効に使いませんか？**  
**詳しくはお電話下さい。078-842-7793（担当：さび池）**

＜特定非営利活動法人にじのかけ橋 役員＞

理事長 武田純子 副理事長 松田安修  
理事 田中 康 松井秀成 岡崎充男 飯島久道  
監事 藤井建治

＜職員・スタッフ＞

施設長 長田祐子  
事務 高坂恵美子 城戸 昇 金岡利和  
山田和子  
嘱託医 森垣 駿

○生活介護 にじのかけ橋  
主任 羽田晋也 副主任 春田佳寿世  
看護師 内田八重子  
支援員 嶋本静代 吉田恵子 花崎加葉  
奥村久美 浦 章子 廣瀬博子  
藤原公男  
スタッフ 西村美絵子  
運転員 本屋敷四郎 淵野好己 村上公朗  
笠井睦生

○生活介護 ぶどうの木  
主任 木田京子  
看護師 本間ヒロ子  
支援員 吉田直美 辰巴 仁  
運転員 池野利仁

○居宅介護 ハートケア「にじのかけ橋」  
管理者・サービス提供責任者 鷺池美智子

## 新入職員紹介

H30. 8月 支援員 浦 章子  
H30. 9月 支援員 廣瀬博子  
H30. 10月 支援員 藤原公男

○生活介護 にじのかけ橋 神戸市東灘区御影中町8丁目3-14  
Tel. 078-842-7765/Fax. 078-842-7790

○生活介護 ぶどうの木 神戸市東灘区深江南町2丁目9-7  
Tel/Fax. 078-451-8850

○居宅介護 ハートケア「にじのかけ橋」  
神戸市東灘区御影中町8丁目3-14  
Tel. 078-842-7793/Fax. 078-842-7790

∞編集後記∞

相次ぐ自然災害に、平穏な日常の大切さを痛感しました。そして、日常で繰り返されることも当たり前ではないという感覚で、利用者のみなさんの努力や頑張りを感じ、見守る日々でありたいと思います。また次のステップを楽しみにする応援団でありたいとも思います。

私達も努力を重ねながら、課題に取り組んでいかねばなりません。「にじのかけ橋」の今後の歩みを見守っていただければと思います。

（編集委員：木田・長田・春田・山田）